

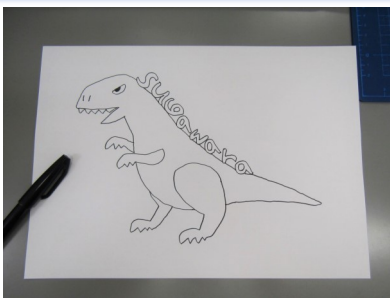
アドベントクラフト⑤ 段ボールで恐竜を作っちゃおう



クラフトと言えば工作。工作と言えば、段ボール！（*^-^*）

5回目は、段ボールでワイルドな恐竜を作ってみようと思います。サンプルで作った恐竜の図案もダウンロードできますが、自分で自由に描いた恐竜を立体にしてみませんか？

用意するもの



元になる恐竜の絵（A4サイズ）

↓

一番後ろのページに恐竜イラストのサンプルがあります。



段ボール（5mm厚が作りやすいです）

セロテープ

マスキングテープ

両面テープ

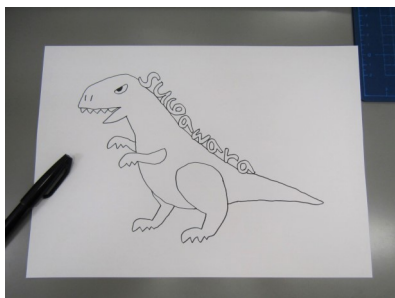
木工用ボンド

黒マジック

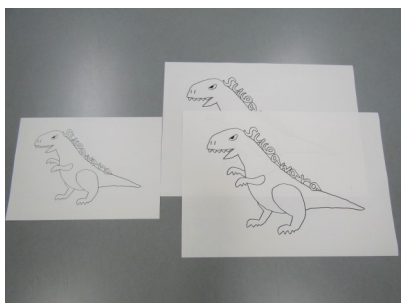
金尺（金属の定規）

カッターナイフ

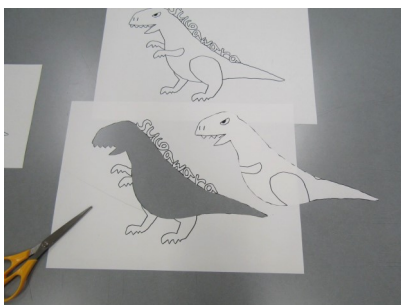
作り方



A4の紙いっぱいに自由に恐竜の絵を描く(真横から見た絵の方が作りやすい)。



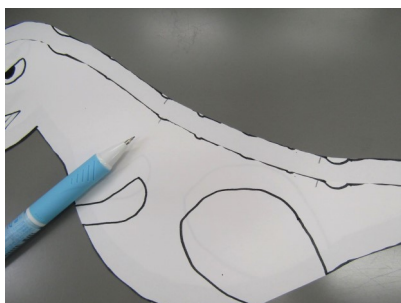
A3に拡大コピーを3枚する。



3枚中2枚の頭～胴体を切り抜く(型紙になります)。



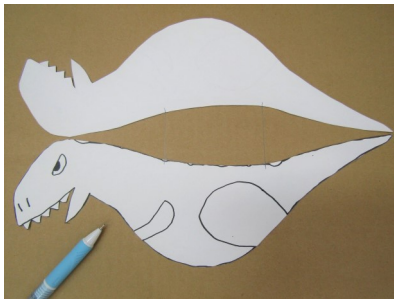
拡大した残り1枚から、手と足と背びれ(他にもパーツがあればそれも)を切り抜く。



切り抜いた胴体の背中の「平らな」ところを選んで、2枚同じ位置に印を付ける。



胴体の片方を裏返して、裏側にもわかるように印を付ける。



段ボールの上に背中合わせに胴体を置き、鉛筆でなぞる。



印同士も線で結ぶ(マチ部分)。



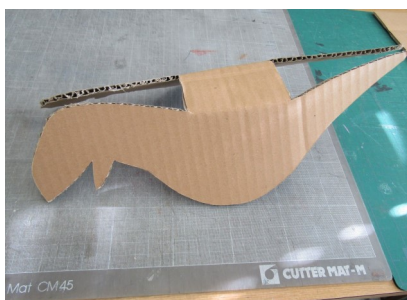
手と足の背びれ(とそれ以外)も、それぞれ2枚ずつ段ボールになぞって写す(表裏各1枚)



写したものを全て切り抜きます。あまり細かい図案にすると、切り抜くのが難しいです。



苦し紛れの背びれ「sugawara」の文字。後でマジックで書き足してもOK。



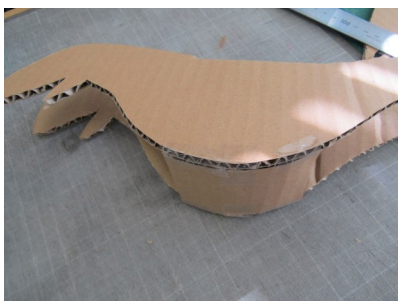
マチでつながった胴体を山折りにして、コの字に折る。



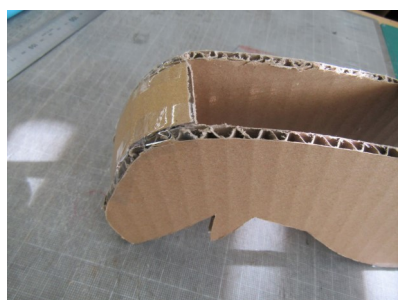
コの字にした胴体を段ボールの上で転がしながらお腹のマチ幅で線を引きます(左右)。



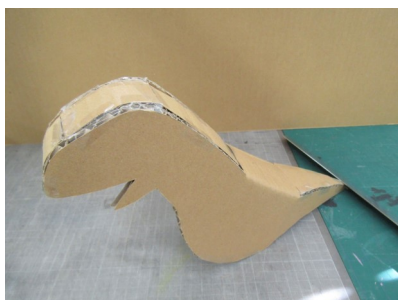
左右の線×おなかの丸みを覆う長さで切った長方形のパーツを作り、カーブを付けます。



カーブさせたパーツを胴体のお腹のカーブに合わせて、セロテープ留めします。



頭の上側、鼻先、首後ろも同様に、胴体を転がして線を引き、マチを作って貼り付けます。



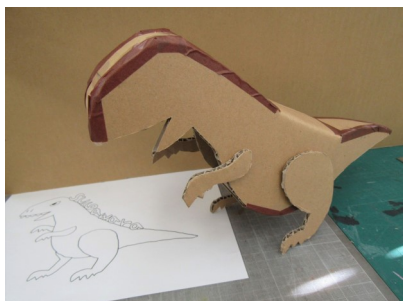
しっぽの上だけは、マチが三角形になります。左右のしっぽの先を寄せ合わせて型取りします。



セロテープを隠すように、セロテープの上からマスキングテープで化粧貼りします。



足のパーツの太もも部分に両面テープを付けて、原画を参考に胴体に貼る位置を決めます。



足は、片足をまず付け、もう片方は、恐竜が自立するようバランスを取って付けます。



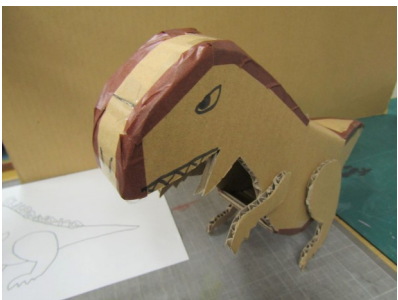
手も貼り付けて、原画と並べてみて、イメージが近いか確認します。



切り抜きが難しかった背びれは、マジックで書きこんだりしてもデザインになります♪



背びれを2枚貼り合わせます。断面積が大きくなり、背中に貼りやすくなります。



胴体に顔を描きます。歯のギザギザも切り抜きが難しかったので、描いています。



顔を描くとそれなりに(*^-^*)いい感じになってきました。



背びれを木工用ボンドで背中に貼り付けて、完成！



完成！がおーっ！！！！

できあがり

段ボールの切り抜きが難しくてガタガタになってしまったところも、かえて恐竜のワイルド感が出て、いい味になると思いませんか？コピー用紙で歯を作って、白い歯が付いていてもいいでしょうし、背びれはモールやキラキラの色紙で作っても可愛いです。

自立で立つタイプを飾ってもいいですし、テグス糸で天井から吊り下げてモビール風にするのも、秋からクリスマス時期のお部屋を飾る、楽しいインテリアになりますよ。

自分の描いたイラストで、オリジナルの恐竜さんを作ってみてくださいね。



